

2022年3月10日

各 位

株式会社エフピコ

### 太陽光発電による再生可能エネルギー調達開始のお知らせ

当社は、2021年7月19日付「三井物産プラントシステム株式会社との電力購入契約(PPA)締結のお知らせ」にて公表しました、三井物産プラントシステム株式会社（以下MPS）との電力購入契約（PPA※1）に基づき、MPSが当社関東エコペット工場及び関東八千代工場（茨城県結城郡八千代町）に設置した太陽光発電設備の契約運転を開始したことに伴い、関東エリアにおいて再生可能エネルギーの調達を開始しましたので、お知らせいたします。（※2）

これにより、同敷地内の関東リサイクル工場で使用する電力の全量相当を再生可能エネルギーでまかなうことが可能となりました。なお、2023年3月期には、中部エリア及び関西エリアにおいても、PPAモデルによる太陽光発電の実施を展開予定です。

なお、契約運転開始をもって、両工場の太陽光発電設備はMPSからMHCユーティリティーイノベーション株式会社（本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松本義法）に譲渡され、同社がPPA事業者として、事業期間の運営を行います。また、MPSは引き続き両工場における太陽光発電事業の運営を支援します。

#### 〈概要〉

	関東エコペット工場	関東八千代工場
PPA事業者	MHCユーティリティーイノベーション	
発電容量	約 1.4MW	約 1.5MW
年間計画発電量	149 万 kWh	164 万 kWh
年間CO <sub>2</sub> 削減量	約 660t-CO <sub>2</sub>	約 730t-CO <sub>2</sub>
契約運転開始日	2022年3月10日	
発電した電力の用途	関東リサイクル工場における再生原料生産工程	

太陽光発電による再生可能エネルギーの調達により、関東リサイクル工場における再生原料製造工程でのCO<sub>2</sub>排出量がゼロになることで、石油由来製品と比較したエコトレーのCO<sub>2</sub>削減効果が30%から33%に上昇する見込みです。さらに、中部エリア及び関西エリアにおける太陽光発電設備の運転開始後には、エコトレーのCO<sub>2</sub>削減効果は37%へ上昇する見込みです。（※3）

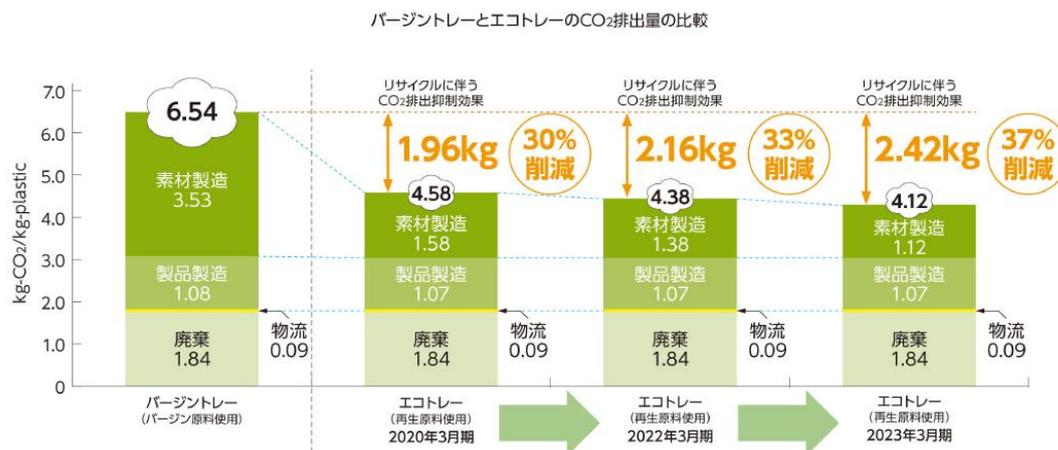
引き続き、当社及びMPSは環境負荷低減を更に加速させるため、再生可能エネルギーを積極導入することで低炭素社会の実現と持続可能な社会の構築を目指してまいります。

(※1) 電力購入契約「PPA (Power Purchase Agreement)」とは、電力会社等の PPA 事業者が、電力需要家の敷地や屋根などを借り受け、太陽光発電設備を設置し、そこで発電した電力を電力需要家に販売する事業モデルのことです。

(※2) 関東エコペット工場及び関東八千代工場に設置した太陽光パネル



(※3) エコトレーの CO<sub>2</sub> 削減効果



(関連リリース)

2021/2/1「使用済み容器リサイクルによるカーボンオフセット実現に向けエフピコと  
三井物産グループが屋根上太陽光発電の協業開始」

<https://www.fpcoco.jp/blog/2021/02/01/391>

2021/7/19「三井物産プラントシステム株式会社との電力購入契約（PPA）締結のお知らせ」

<https://www.fpcoco.jp/blog/2021/07/19/422>

以 上

**【本リリースに関する問い合わせ先】**

株式会社エフピコ 経営企画室 IR・広報課 TEL : 03-5325-7756